



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行11月20日 No.207

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てよう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめよう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりよう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きよう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ



火災に備えて

こばと保育園(園児60名)では、去る10月22日自衛消防訓練を行いました。

当日は、一連の消防避難訓練のほか、ミニ消防自動車による放水訓練があり、園児たちも黄色い声をあげながら真剣に取り組んでいました。

私たちも、到来する火災シーズンに備え、火の後始末には十分気をつけましょう。

61

/11月号

三股町文化祭

町文化祭は、11月2日、3日の2日間、勤労者体育センターを中心会場として盛大に開催されました。

同センターには、園児、小・中学生、青年、婦人会、各種クラブの作品約2千点が展示され、会場を訪れた人たちは熱心に見入っていました。

また武道体育館では、商工会による各種商品展示即売会も行われ、多くの人たちで賑いました。

そのほか中央公民館前の広場では、更生婦人会やSAP会議、林研グループによる催し、各地区においては菊や盆栽などの展示会が行われました。



健康相談コーナー



ぜんざいコーナー



商工会商品即売会



芸能発表会

町文化協会（会長久保田秀雄）主催による芸能発表会は、十一月二日町体育館に約八百名を集め、華やかに開かれました。発表会では、舞踊、詩吟、三味線合奏、民謡などが次々に披露されました。とくに舞踊では、練習に練習を重ねた二十八の踊りとあでやかな衣裳が披露され、観客はため息混じりで盛んな拍手を送っていました。



各種展示会



昭和61年度 三股町表彰式



菊花香る十一月三日の「文化の日」に、昭和六十一年度三股町表彰式が中央公民館に於いて挙行され、功労者二名と善行二名、一団体が表彰を受けた。

表彰式には町三役、町議会議長、教育委員、地区公民館長、各種団体役員、各課長など約六十名が参加し、全員で町民憲章を朗読した後、受賞者の功績紹介と表彰が行われました。

その後、山元町議会議長と佐沢県議会議長が祝辞を述べられ、最

功労賞二名・善行賞二名 一団体が受賞

後に受賞者を代表して、上米の中原不二男氏が「私たちは与えられた任務を遂行してきただけのこと、私どもが榮譽ある賞を受けることができたのは周囲の方々の長年にわたるお力添えによるものです。……本日のこの感謝をまたひとつの契機としまして、町政発展のため微力ながら尽力したい」と、お礼を述べられました。

なお、受賞者名及び功績は次のとおりです。（受賞順）

○功労賞（産業部門）

中原 不二男氏（七十歳）

氏は、町たばこ耕作振興会に永年在籍され、本町のたばこ耕作振興に尽力されました。なかでも葉たばこの共同育苗圃の充実による健苗育成、共同堆肥盤の設置による有機肥料の増産、水田への集団化による栽培管理の合理化などに手腕を発揮され、葉たばこの収量増や経営農家の所得増など、本町の産業振興に大きく貢献されました。

○功労賞（産業部門）

北村 孝 行氏（七十二歳）

氏は、夢池土地改良区の設立当初から理事として活躍され、区画整理事業の推進や財務の健全運営に多大の貢献をされました。特に昭和四十八年から九ヶ年をかけて実施された県営夢池地区農地保全事業では、事業の推進と用地交渉に昼夜をいとわず精励されるなど、その完成に大きく寄与され、本町の農業行政の伸展に貢献されました。

○善行賞

桑畑 文雄氏（六十歳）

氏は、氏の経営する（有）みまたストアが創業五十周年を迎えられたのを機に、町立図書館の蔵書を充実してくださいと百万円を寄付されました。これは町民の知性の陶冶はもとより、人間形成の向上に大きく寄与すること必然であります。

○善行賞

田中 武 子氏（六十五歳）

氏は、永年にわたり早馬公園の清掃を毎日のように続けられており、同公園の環境美化に大きく貢



受賞者記念撮影

○善行賞

光陽電器(株) 宮崎工場

同社は、創立以来、順調な会社経営と雇用促進を図られ、社員が安全衛生思想の普及に積極的に取り組んでおられます。なかでも献血推進については、献血に対する正しい知識とその重要性を深く認識され、過去五年間にわたり、全社あげて率先、協力されておられます。その行為は、社会福祉に大きく貢献されており、他の模範とするところであります。

児童・生徒8名が意見発表



町教委と町青少年育成町民会議が主催する「子どもの声」を聞く会が、十一月三日中央公民館で開かれました。

これは、子どもの描く人間像や子どもの家庭生活、学校生活、友人関係などについて日ごろ考えていることや、その将来についての意見を聞くことにより、今後の青少年育成の向上に資するものです。

会には、関係者など約八十名が出席。各小中学校の代表者八名の切実な訴えに、深い感銘を受けていました。

三股町子どもの声を聞く会



- 意見発表者は、次のとおりです。(敬称略)
- 「私はこんな学校生活をおくりたい」
勝岡小六年 濱屋和盛
 - 「私はこんな家庭生活をおくりたい」
梶山小六年 宮田八十八
 - 「私はこんな人になりたい」
宮村小六年 久賀 武
 - 「私はこんな人になりたい」
長田小六年 児玉道郎
 - 「楽しい学校生活するには」
三股小六年 徳永一正
 - 「私はこんな家庭生活をおくりたい」
三股小六年 中内千代美
 - 「友だち」
三股中三年 新沢津勉
 - 「私はこんな友達関係をもりたい」
三股中二年 福永知代

郡公民館大会



「明るく住みよい郷土づくりをめざす公民館活動」をテーマに、郡公民館大会は去る十月十五日、午前九時半から本町体育館で郡内の関係者約二百五十名が参加して開かれました。

これは、北諸地区住民の豊かな人間性、生きがいの実現、地域連帯感の強化などを目指して、毎年開かれているものです。

まず社会教育関係活動功労者と優良公民館の表彰が行われた後、県公運事務局次長の弓削武美氏が「これからの公民館活動のあり方」と題して講演され、参加者は注意深く聞き入っていました。

午後からは、レクリエーション

としてミニバレーボールが行われ、大会は盛会のうちに幕を閉じました。

なお本町関係の受賞者は次のとおりでした。

- 社会教育関係活動功労者
第一地区公民館長森 保正
- 優良公民館等
三原地区コミュニティセンター

三原の花園

郡公民館大会で優良公民館として表彰された三原地区は、毎月第一日曜日、全戸が参加して「三原花園」の手入れをされています。このため、花園の美しさもさることながら、住民の種々の行事や活動への積極的参加が生まれていきます。



老人クラブ大会を盛大に開催

町老人クラブ連合会主催による町老人クラブ大会は、去る十月二十四日町体育館で約一千名が参加して盛大に開かれました。

この大会は、加速度的に高齢化社会へと移行していくなかで、老人を取り巻く諸問題を認識し、充実した老年期を過ごそうと毎年開かれています。

県老人クラブ綱領の朗読や大会長あいさつに引き続き、永年功労者となたきり老人介護者が表彰されました。

その後、アトラクションとして民謡や舞踊の披露、三味線演奏などが行われ、参加者は心を和ませていました。



金婚式で百七十四組を表彰

町社会福祉協議会は、町老人クラブ大会の席上、結婚五十周年金婚式以上のご夫婦百七十四組を特別表彰しました。(地区別内訳)

第一地区11組、第二地区29組、第三地区17組、第四地区20組、第五地区22組、第六地区41組、第七地区20組、第八地区10組、第九地区2組、老人ホーム2組



図書館だより 第十五号

一、読書講演会

- 十月九日(水)午後二時から中央公民館第一研修室に於て開催しました。
 - (1) 対象 幼児・小学生をもつ親
 - (2) 演題 「読書好きな子どもに育てるにはどうしたらよいか」
 - (3) 講師 宮崎市立江平小学校校長 竹井 典雄先生
 - (4) 参加者 百一名
- ※ 幼児は、絵を読んで、自分の



二、三股の将来を託す高校生

- (1) 夏休み中、高校生は冷房のきいた図書館で、資料を利用しながら、こんなに勉強しました。
- (2) 期間 七月二十一日から八月末まで(開館日三十六日)
- (3) 利用者
男子高校生 延二百六十二名
女子高校生 〃 百八十二名
計 〃 四百四十四名

三、図書館で、今

「こんにちは、本を返します」「本を借ります」「ありがと」「さようなら」

元気な子どもたちの声。笑顔がいっぱい。ほのぼのとほほえましい姿。それは、図書館を高一層明るくしてくれました。登録して利用している五四四名の小学生です。



郡PTA研究大会

郡PTA研究大会は、去る十月二十六日、三股小体育館に関係者約三百五十名を集め、盛大に開催されました。

大会は、開会行事に引続き、PTA活動に貢献された個人や団体の表彰、講演、事例発表、全体討議の順で進行されました。

講演は、県教委の野村勝由先生が「モスタウ異聞」を演題としてされ、参加者はメモをとりながら熱心に聞き入っていました。

事例発表は三名の方が行われ、本町からは、三股中の山元勝博氏が個性あるPTA活動について発表されました。

研究の成果を公開

三股中では、六十年度から文部省・県・町指定の生徒指導総合推進校として二ヶ年にわたり研究実践に取り組みられています。その研究公開をこのほど行いました。

公開には、県教育長をはじめ約二百名が参加。まず公開授業が行われた後、研究発表に入り、三者（教諭、生徒会長、PTA会長）がそれぞれの立場で研究の成果を発表しました。

午後からは、三つの部会（一、三年部会）に別れて分科会が開かれ、それぞれの研究テーマに対して活発な意見が出されました。



運動会で交通安全を呼びかけ

第六地区運動会は、去る十月十二日勝岡小運動場に、約千五百名の老若男女を集め盛大に行われました。

会場では、各種競技のほかに第六部消防団の通常点検や消防操法が披露され、観衆の盛んな拍手を受けていました。

また交通安全パレードも行われ、プラカードやのぼり、ひよっこ踊りなどで交通安全の啓蒙を行いながら場内を一周。本町の交通違反状況やシートベルト着用など場内放送も行われました。



防犯運動を呼びかけ

町防犯協会では全国防犯運動期間中の十月十三日、防犯に対する住民の意識を高めるために、花の種子とチラシを配布し、防犯運動への参加を呼びかけました。

当日は、町婦人連協、都城警察署などの関係者二十余名が参加し、東高校前の沿道で約五百袋の種子を配布。思わぬプレゼントに通行中の人やドライバーは、防犯運動への参加を喜んでいました。

私たちも、カギの掛け締めや暴力、かかせい剤の追放など防犯運動に積極的に参加し、「安全で住みよい町づくり」に心がけたいものです。

助役に豊丸氏を三選

十一月十日の臨時議会で、任期満了に伴う助役の選任議案が同意可決され、現職の豊丸武春氏（六十四歳）が三選されました。

豊丸氏は、昭和三十三年に役場に奉職、環



境保健課長、商工観光課長、建設課長、人事課長、町民相談室長等を経て昭和五十三年十一月に助役に選任され、今度で三期目となります。

今後なお一層の活躍を期待します。

いも掘りを楽しむ

町SAP会議（会長松崎清一）が主催するいも掘り大会は、去る十一月五日町内の保育園児を招いて行われました。

これは園児たちに、土に親しみ、収穫の喜びを味わってもらおうと毎年行っているもの。

花見原の畑に約二百名の園児が集まり、ビストルを合図にいもを掘り始め、歓声をあげながら手に持ちきれないほどのいもを収穫しました。

終了後、いもの大きさ、長さ、



形などの審査が行われ、十名の園児が賞を受けました。

さわやかな汗

ハイキング大会



町民との触れ合いの場をつくらうと町職労青年、婦人部が主催するハイキング大会が、去る十一月三日盛大に開かれました。

大会は、五本松児童公園から上米公園までを、Aコース（六km）とBコース（四km）に別れてスタート。幼児から八十四歳のお年寄りまで九百六十五名が完歩しました。

上米公園では、昼食後、レクリエーション（くじ引き大会、大声大会、ピール・コーラ早飲み大会、クイズ）などが行われ、参加者は楽しい一日を満喫していました。

おしらせ



人権週間について

十二月四日から十日までの一週間は、第三十八回人権週間です。今回の強調事項は、「いじめ、体罰の根を絶とう」となっています。

●こんなときには人権擁護委員に
人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、いじめ・体罰そのほか家庭内の問題、借地、借家、登記、金銭貸借問題などいろいろなことでお困りの方は、お近くの人権擁護委員又は宮崎地方事務局都城支局へ御相談ください。
相談は無料で秘密は固く守られますので安心して気軽ににお出かけください。

（人権擁護委員）

- 福重 美義 蓼池一四七六番地 ☎五二一〇九〇
- 桑畑 愿 榊山四二二八番地 ☎五二一五二九五
- 草留千枝子 榊山四四三五番地七 ☎五二一四〇九九

花見原第二団地分譲

町土地開発公社では、花見原団地に引続き花見原第二団地を一般住宅用地として分譲しております。御希望の方は早めに申込んで下さい。

●場所 三股町大字榊山字花見原・沖水原

●（都城農業高校今市牧場跡地）

●一画区画面積 二〇〇㎡（六〇坪）～三五〇㎡（一〇六坪）

●価格 一㎡当り二、〇〇〇円～二、四〇〇円

●一坪当り六九、三〇〇円～七九、二〇〇円

●分譲区画数 二十六区画

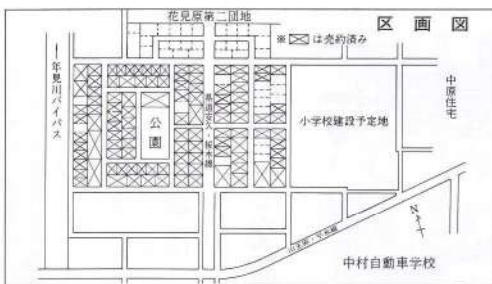
●土地の価格は昭和六十二年三月三十一日までに契約して代金完了した日までの価格です。

●尚移転登記は代金完了後すぐ出来ず。又、略束手数料、登記手数料はいりません。

●詳細については町土地開発公社

11月の納税 固定資産税 3期

来月は保険税
4期の納月です



社にお問い合わせください。
☎五二一〇一一一
（内線八九・七九番）

愛の献血

次のとおり献血にご協力いただきました。ありがとうございます。
と き 十月二十九日

ところ 役場玄関前
献血者数 百二十二名
今後とも、皆様のあたたかいご協力をよろしく願います。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

- 昭和六十一年十月三十一日まで
- 昭和三十九年十月一日から
- 寄付者 続柄 故人名 地区 金額
- 大村 好秀（母） アサノ 森本 三万円
- 東 チエ美 喜利 前目 二万円
- 竹田 桐久美 ユキ 蓼池 二万円
- 出水 哲母 ヤエ 谷 二万円
- 加藤 セツ子 黒木 仲 十万円
- 白浜 文夫 畠 下新 三万円
- 野崎 英（次男） 幸二郎 山王原 五万円
- 小林 正男（母） キサノ 田上 一万円
- 原田 美次（父） 次男 上米 三万円

三股町の人口

昭和61年11月1日現在

人口19,156人	出生 21人
男 9,066人	死亡 8人
女 10,090人	転入 87人
	転出 67人

世帯数 6,103戸
前月比+33人